



2026年5月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年1月13日

上場会社名 Shinwa Wise Holdings株式会社 上場取引所 東
コード番号 2437 URL <https://www.shinwa-wise.com>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）高橋 健治
問合せ先責任者 （役職名）総合企画部長 （氏名）木村 亜里沙 TEL 03-5224-8610
半期報告書提出予定日 2026年1月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年5月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年6月1日～2025年11月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期中間期	606	△55.7	△241	—	△252	—	△278	—
2025年5月期中間期	1,368	22.5	210	—	213	—	189	—

（注）包括利益 2026年5月期中間期 △274百万円（－％） 2025年5月期中間期 168百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年5月期中間期	△25.26	—
2025年5月期中間期	17.65	—

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益は、2026年5月期中間期については潜在株式が存在するものの1株当たり中間純損失であるため、2025年5月期中間期については希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年5月期中間期	2,895	2,073	71.5
2025年5月期	3,313	2,347	70.7

（参考）自己資本 2026年5月期中間期 2,069百万円 2025年5月期 2,343百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年5月期	—	0.00			
2026年5月期（予想）			—	—	—

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2026年5月期期末の配当予想は未定としております。

3. 2026年5月期の連結業績予想（2025年6月1日～2026年5月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,312	11.8	80	554.1	80	—	55	—	5.01

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年5月期中間期	11,017,818株	2025年5月期	11,017,818株
-------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年5月期中間期	一株	2025年5月期	一株
-------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年5月期中間期	11,017,818株	2025年5月期中間期	10,736,118株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 中間連結貸借対照表	6
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	8
中間連結損益計算書	8
中間連結包括利益計算書	9
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(セグメント情報等の注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2025年6月1日～2025年11月30日)におけるわが国経済は、輸出減少が継続するものの、内需(民間消費、住宅投資、設備投資)が増加したことから前年度比実質GDP成長率は小幅なプラスとなっております。今後は米国の追加関税への対策が効果を出し始め、輸出が持ち直すものと見込まれ、かつ、昨年度から続くDX設備投資の影響を中心に今後も緩やかに成長することが予想されます。一方、米国は米政府機関閉鎖が米国市場最長期間に及んだ影響を受け、米国内景気は減速傾向が鮮明になりつつあります。また、EUは政策金利据え置きにより、トランプ関税による景気下押し効果の限定化を目指したためインフレ安定化が進み、成長率は緩やかに回復へと転換しました。しかし、日中関係の悪化による訪日自粛の長期化、米中関係の不安定さにより、サプライチェーンへの影響リスク、ウクライナ戦争による穀物生産量の激減に伴う食糧価格の高止まり傾向など、わが国の景気を下押しするリスクもあり、依然として不透明な状況が続いております。

また、今後も円安がすすむ傾向にあり、食料品や消費財の値上げが実施される可能性が高く、全国消費者物価指数は上昇傾向にあり、現金資産への信用も回復への道のりが不透明でありますので、その対策として実物資産への需要は引き続き一定レベルを保っております。これに伴い、潜在需要が供給を上回る金の価格と、都内の中古マンションへの投資などによる不動産価格指数は、堅調に上昇基調を維持しているようです。

このような環境のもと当社は、高額美術品を中心とした優良作品、およびワイン・リカーや宝飾品などについても良品のオークションへの出品誘致に努め、富裕層を中心とした新規顧客の開拓、オークションへの参加促進に努めてまいりました。しかしながら、アートオークション市場では、価格の上昇をにらみ、良品の出し渋り傾向が引き続きみられ、以前に比べ低調であると言わざるを得ません。以上のような厳しい状況の中、アート関連事業において、取扱高は2,083,071千円(前年同期比43.4%減)、売上高は594,704千円(前年同期比56.0%減)と減収となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①アート関連事業

当中間連結会計期間は、取扱高2,083,071千円(前年同期比43.4%減)、売上高594,704千円(前年同期比56.0%減)、セグメント損失146,204千円(前年同期は314,258千円のセグメント利益)となりました。

種別の業績は次のとおりです。

種 別	第37期中間連結会計期間							
	自 2025年6月1日							
	至 2025年11月30日							
種 別	取扱高 (千円)	前年比 (%)	売上高 (千円)	前年比 (%)	オークション 開催数	オークション 出品数	オークション 落札数	落札率 (%)
近代美術オークション (注) 1	265,960	△53.2	56,564	△48.8	3	137	120	87.6
近代陶芸オークション	179,760	46.4	30,316	36.3	2	295	263	89.2
近代美術PartⅡオークション	44,765	36.9	9,645	43.3	3	240	232	96.7
コンテンポラリーアートオークション	69,785	△8.2	14,666	△5.4	3	45	37	82.2
ワイン・リカーオークション	141,095	△7.1	33,945	12.0	1	658	494	75.1
ジュエリー&ウォッチオークション	231,980	△20.0	43,592	△29.2	1	291	224	77.0
その他オークション (注) 2	43,440	24.0	8,195	14.8	1	167	154	92.2
アイアートオークション	653,180	△32.2	123,974	△34.3	3	906	782	86.3
オークション事業合計	1,629,965	△27.3	320,900	△27.5	17	2,739	2,306	84.2
プライベートセール (注) 3	453,106	△68.0	268,756	△70.2				
その他	0	-	5,047	△35.5				
プライベートセール ・その他事業合計	453,106	△68.5	273,804	△69.9				
アート関連事業合計	2,083,071	△43.4	594,704	△56.0				

(注) 1. 取扱高の前年比増減率と売上高の前年比増減率の乖離の大きな要因のひとつに、商品売上高の増減があります。商品売上高は、オークション落札価額に対する手数料収入、カタログ収入、年会費等と同様に売上高を構成する要素であり、在庫商品を販売した場合、その販売価格(オークションでの落札の場合には落札価額)を商品売上高として、売上高に計上することとしております。

2. その他オークションは、出品の状況により随時開催しております。

3. 販売委託契約などによる手数料収入のみを売上高の構成要素としている取引が、取扱高と売上高との大きな乖離の一因となっております。

i) オークション事業

当中間連結会計期間は、オークションの開催回数は17回(前年度開催回数18回)でした。内訳は、近代美術オークション、近代美術PartⅡオークション及びコンテンポラリーアートオークションを各3回、近代陶芸オークションを2回、ワイン・リカーオークション、ジュエリー&ウォッチオークション、西洋美術オークションを各1回です。加えて、アイアート株式会社のオークションが3回(前年度開催回数3回)行われました。

近代美術オークションは、出品点数17.5%減、落札点数10.4%減となりました。平均落札単価は前年比で47.9%減となりましたが、エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は、平均で109.7%と高い水準で推移いたしました。

近代陶芸オークションは、出品点数12.2%減、落札点数7.7%減となりました。平均落札単価は前年比で58.7%

減となりましたが、エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は、平均で104.0%と推移いたしました。

近代美術PartⅡオークションは、出品点数15.9%増、落札点数23.4%増となりました。平均落札単価は前年比で10.9%増加し、エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は、平均で110.9%と高水準で推移いたしました。

コンテンポラリーアートオークションは、出品点数39.2%減、落札点数38.3%減となりました。平均落札単価は前年比で48.9%増加し、エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は、平均で148.9%と高水準で推移いたしました。

ワイン・リカーオークションは、出品点数12.3%増、落札点数5.6%増となりました。平均落札単価は前年比で11.2%減少し、エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は88.8%となりました。

ジュエリー&ウォッチオークションは、出品点数17.3%減、落札点数1.8%減となりました。平均落札単価は前年比で18.6%減少し、エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は81.4%となりました。

その他オークションは、出品点数20.5%減、落札点数19.4%減となりました。平均落札単価は前年比で53.8%増加し、エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は116.4%となりました。

アイアートオークションは、出品点数7.1%減、落札点数0.4%増となりました。平均落札単価は前年比で32.5%減少し、取扱高は653,180千円(前年同期比32.2%減)、売上高は123,974千円(前年同期比34.3%減)となりました。

ii) プライベートセール・その他事業

プライベートセール・その他事業では、当中間連結会計期間は、売上高273,804千円(前年同期比69.9%減)となりました。

②その他事業

子会社保有の太陽光発電施設による売電事業については、当中間連結会計期間のその他事業のセグメント売上高は11,835千円(前年同期比31.7%減)、セグメント利益1,135千円(前年同期は18,348千円のセグメント損失)となりました。

以上により、当中間連結会計期間の業績は、売上高606,539千円(前年同期比55.7%減)、営業損失241,062千円(前年同期は営業利益210,463千円)、経常損失252,047千円(前年同期は経常利益213,081千円)、親会社株主に帰属する中間純損失278,287千円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益189,447千円)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①財政状態の分析

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は、2,895,175千円となり、前連結会計年度末に比べ、417,851千円減少いたしました。その主な内訳は現金及び預金の減少136,225千円、オークション未収入金の減少175,649千円によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、821,852千円となり、前連結会計年度末に比べ、143,339千円減少いたしました。その主な内訳は流動負債「その他」の減少80,049千円によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、2,073,323千円となり、前連結会計年度末に比べ、274,511千円減少いたしました。その主な内訳は利益剰余金の減少278,287千円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末より136,225千円減少(前年同期は243,163千円減少)し、1,085,216千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は105,054千円(前年同期は258,802千円使用)となりました。これは主に、税金等調整前中間純損失277,507千円による資金減少、オークション未収入金の減少額175,649千円による資金増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は12,247千円(前年同期は34,901千円獲得)となりました。これは主に有形固定資

産の取得による支出11,791千円の資金減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は18,923千円(前年同期は18,957千円使用)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出17,774千円の資金減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月期の業績予想については、2025年7月11日付で公表いたしました通期の連結業績予想より変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,221,441	1,085,216
売掛金	4,374	2,446
オークション未収入金	267,815	92,165
商品	1,016,850	969,846
前渡金	3,000	5,100
その他	132,265	90,976
貸倒引当金	△2,231	△2,231
流動資産合計	2,643,516	2,243,519
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	42,509	36,817
機械装置及び運搬具(純額)	130,510	122,311
土地	36,900	34,900
その他(純額)	23,422	24,129
有形固定資産合計	233,341	218,158
無形固定資産		
のれん	224,576	210,966
ソフトウエア	14,390	11,326
その他	0	0
無形固定資産合計	238,967	222,292
投資その他の資産		
投資有価証券	7,564	13,077
関係会社株式	60,600	60,600
その他	304,721	319,622
貸倒引当金	△175,684	△182,095
投資その他の資産合計	197,201	211,204
固定資産合計	669,510	651,655
資産合計	3,313,026	2,895,175
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,692	7,921
オークション未払金	306,851	274,193
短期借入金	90,000	90,000
1年内返済予定の長期借入金	35,882	35,882
未払法人税等	19,700	5,617
前受金	43,356	39,438
賞与引当金	23,664	29,438
その他	187,732	107,682
流動負債合計	712,879	590,173
固定負債		
長期借入金	166,691	148,917
退職給付に係る負債	19,530	18,300
その他	66,090	64,461
固定負債合計	252,311	231,678
負債合計	965,191	821,852

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (2025年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	220,086	220,086
資本剰余金	2,999,234	2,999,234
利益剰余金	△876,405	△1,154,692
株主資本合計	2,342,915	2,064,628
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	815	4,591
その他の包括利益累計額合計	815	4,591
新株予約権	4,103	4,103
純資産合計	2,347,834	2,073,323
負債純資産合計	3,313,026	2,895,175

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)
売上高	1,368,425	606,539
売上原価	541,979	301,036
売上総利益	826,446	305,503
販売費及び一般管理費	615,983	546,565
営業利益又は営業損失(△)	210,463	△241,062
営業外収益		
受取利息	202	1,036
為替差益	—	9,713
暗号資産評価益	7,547	—
受取保険金	—	4,305
その他	2,427	4,089
営業外収益合計	10,176	19,146
営業外費用		
支払利息	2,328	2,083
為替差損	3,819	—
支払手数料	—	17,207
貸倒引当金繰入額	1,057	6,266
その他	352	4,574
営業外費用合計	7,558	30,131
経常利益又は経常損失(△)	213,081	△252,047
特別利益		
子会社株式売却益	58,553	—
貸倒引当金戻入額	2,932	236
その他	4,545	—
特別利益合計	66,031	236
特別損失		
減損損失	2,977	—
固定資産除却損	—	933
貸倒引当金繰入額	—	380
訴訟関連損失	—	23,631
過年度決算訂正関連費用	66,262	—
その他	—	749
特別損失合計	69,239	25,695
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	209,873	△277,507
法人税、住民税及び事業税	30,119	780
法人税等調整額	△9,694	—
法人税等合計	20,425	780
中間純利益又は中間純損失(△)	189,447	△278,287
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	189,447	△278,287

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	189,447	△278,287
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△680	3,775
為替換算調整勘定	△20,448	—
その他の包括利益合計	△21,128	3,775
中間包括利益	168,319	△274,511
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	168,319	△274,511
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	209,873	△277,507
減価償却費	33,712	27,106
のれん償却額	13,610	13,610
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△108	6,411
賞与引当金の増減額(△は減少)	13,368	5,774
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	805	△1,230
受取利息及び受取配当金	△202	△1,036
支払利息	2,328	2,083
減損損失	2,977	—
固定資産除却損	—	933
子会社株式売却損益(△は益)	△58,553	—
過年度決算訂正関連費用	66,262	—
訴訟関連損失	—	23,631
売上債権の増減額(△は増加)	7,823	1,928
オークション未収入金の増減額(△は増加)	△159,422	175,649
未収入金の増減額(△は増加)	149	1,640
棚卸資産の増減額(△は増加)	121,674	47,003
前渡金の増減額(△は増加)	23,138	△2,100
仕入債務の増減額(△は減少)	△23,791	2,228
オークション未払金の増減額(△は減少)	△62,926	△32,658
前受金の増減額(△は減少)	△253,724	△4,817
その他	22,169	△69,395
小計	△40,835	△80,744
利息及び配当金の受取額	202	1,036
利息の支払額	△2,328	△2,083
法人税等の支払額	△34,841	△2,538
法人税等の還付額	19,615	—
訴訟和解金の支払額	△18,000	—
補修関連工事支払額	△56,640	—
過年度決算訂正関連費用の支払額	△125,973	—
訴訟関連損失の支払額	—	△20,725
営業活動によるキャッシュ・フロー	△258,802	△105,054
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,550	△11,791
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	38,601	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△1,116
敷金及び保証金の回収による収入	155	650
その他	694	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	34,901	△12,247
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△17,774	△17,774
セール・アンド・リースバックによる支出	△1,183	△1,149
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,957	△18,923
現金及び現金同等物に係る換算差額	△305	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△243,163	△136,225
現金及び現金同等物の期首残高	1,341,996	1,221,441
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,098,833	1,085,216

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)	中間連結損益 計算書計上額
	アート関連事業	その他事業			
売上高	1,351,085	17,340	1,368,425	—	1,368,425
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	314,258	△18,348	295,910	△85,447	210,463

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用
△85,447千円であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「その他事業」のPKS事業において連結子会社であったSHINWA APEC MALAYSIA SDN. BHD. が保有する事業用
資産について、収益性の低下により、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別
損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間において2,977千円でありま
す。

II 当中間連結会計期間(自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)	中間連結損益 計算書計上額
	アート関連事業	その他事業			
売上高	594,704	11,835	606,539	—	606,539
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△146,204	1,135	△145,068	△95,993	△241,062

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用
△95,993千円であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計額は、中間連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。